

コード	V-12-26	施策名	幼(保)小中高連携の推進
まちづくりの目標	磨き輝き続ける市民がつながり、白杵っこが育つまち(学び)	施策の方針	ふるさとを担うたくましい人材を育てる
5年後のめざす姿	自己実現に向けて、自立した社会人となるための基礎学力及び基本的な生活習慣の定着を図るために、保育園・子ども園・幼稚園・小学校・中学校・高校18年間を通した一体教育をめざします。情緒豊かな人間性に加え、郷土に誇りと愛着を持ち、将来の白杵を支える人材として成長するように、幼保小の連携、小小・小中の連携、中高の連携及び家庭や地域との連携のさらなる強化を図ります。		
施策の課題	幼児教育と小学校教育とのスムーズな連携を構築するために幼児教育推進協議会や幼保小連携推進委員会を開催し、情報交換や意見交換を積極的に行います。 加えて、高等学校卒業まで「白杵の子どもは白杵で育てる」を実現するため、白杵市の目指す子ども像を共通理解し、必要となる学力を保証します。また、キャリア教育を充実させ、中学校と高等学校で連携しながら取り組みをすすめていきます。		

< 施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次白杵市総合計画 後期基本計画 >

新規指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	市内の高校の市内生徒率	進路調査結果	目標	%	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
			実績	%	46.0	45.0	32.7	42.3	49	
			達成率	%	90.0%	65.4%	84.6%	98.0%		
	小中一体教育ブロック別学習会に幼保を入れて行った研修の実施回数	ブロック別学習会の報告書	目標	回	5	5	5	5	5	5
			実績	回	5	5	5	5	5	
			達成率	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
指標の進捗状況	概ね順調	指標の分析	9年間を見通した系統的な教育をめざし、中学校区5ブロックすべてがそれぞれの良さを生かして、授業改善や情報交換等に取り組んでおり、小中一体教育推進協議会も計画的に実施してきました。ブロックごとに学力状況調査結果の分析を行い、課題を共通理解して学力向上に取り組んでいます。また、幼保小中一体教育として、幼稚園・保育園(所)と小学校とのつながりを積極的に進め、合同研修などにより「つながり」ある教育の実現に向けた取り組みを行っています。							
		指標達成に向け今後の流れ	市内の高校への進学率は、ほぼ目標値に達しました。市内全中学校の学力向上の取り組みを強化することで、市外の公立高校や私立高校の特進コースを選択する幅も広がっており、市内の高校の魅力づくりと中高連携の強化が必要です。							

< 市民意識調査結果 R6実施結果 >

領域名	必要度	満足度	満足度	
向上領域	2.56	2.02		
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているが、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域				浸透度
				75.97%
過去の調査結果(領域)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	強化領域	強化領域	強化領域	

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項
			R4年度実績	R5年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度	
1	高等学校奨学資金交付金事業	学校教育課	1,000	2,100	無	概ね順調	向上	中	
2	要保護及び準要保護児童生徒援助費補助事業	学校教育課	33,200	30,000	無	概ね順調	向上	中	
3	小中一体教育推進事業	学校教育課	33	369	無	概ね順調	向上	中	○
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計			34,233	32,469	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

<次年度以降の課題>

幼保小中一体教育の推進を充実させるためには、幼保小の情報交換会や交流事業の充実とともに、幼児教育推進協議会や幼保小連携推進委員会の定期的な開催により、幼保と小学校を滑らかにつなげ連携を深めていく必要があります。また、高等学校とつながりを深めるとともに、地域と連携したキャリア教育を充実させ、生徒が臼杵で就職したいという意欲を高めることも必要です。

施策の評価（今後の施策の方向性）

評価の選択肢 ○ 向上 ・ 現状の通り維持向上する ○ 強化 ・ 現状より強化を図る  
○ 見直し ・ 現状を見直し適正化を図る ○ 検討 ・ 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>・・・評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
向上	幼(保)小中の連携については、情報交換や交流等を定期的実施しており、また、施策の指標の達成率を踏まえた進捗状況として、概ね順調に推移しているため、現状通り取り組みを継続することとしました。今後、市内の高校との連携や市内で就職意欲醸成のためのキャリア教育などの検討を進めます。